

支部長挨拶

仙南支部 支部長 みやぎ県南中核病院 大桐 規子



いつも宮城県看護協会仙南支部活動にご理解、ご支援をいただきましてありがとうございます。活動もコロナ以前に戻り、昨年度は「看護のひろば」や「まちの保健室」を開催することができました。また、仙南地区の看護職を増やすために、県協会と連携して実態調査や管理者連絡会、就労環境改善ワークショップが開催されました。働きたい人にうまく情報が届くよう「仙南地区病院情報一覧」を作成して県協会ホームページのトピックスに掲載されました。ぜひご覧ください。

4月20日に令和6年度支部総会が行われ、新年度体制がスタートしました。支部の「明るく、楽しく、元気よく、強い絆で繋がろう」をモットーに、職場の壁を越えて看護職のネットワークを築いていきたいと思ひます。皆様のご参加をお待ちしております。

研修会に参加して

川崎こころ病院 阿部 咲枝

4月20日に第1回仙南支部研修会が開催されました。中核病院の会場とオンラインでのハイブリッド開催で行なわれ多数の皆さまに参加していただくことができました。

田中先生からは心不全患者守るための中核病院での取り組みについてご講演をいただきました。高齢に伴い仙南地域でも心不全患者が増加していること。多職種が連携して介入していくことで予防や再入院を減らすことに繋がることを学ばせていただきました。

吉田先生からは外来看護師が行う心不全療養への支援についてご講演をいただきました。心不全手帳を活用しセルフケア行動が維持できるように支援されており、地域でも心不全の患様をサポートしていく必要性を学ばせていただくことができました。

お忙しいなか、大変貴重なご講演をいただきありがとうございます。

今回の研修会で得たことを今後に活かしていきたいと思ひます。



令和6年度 宮城県看護協会仙南支部役員名簿

役職名	氏名	所属	職能別	備考
支部長	大桐 規子	みやぎ県南中核病院	助産師	継続
副支部長	佐藤 一弘	大泉記念病院	看護師	継続
	長谷川香緒里	金上病院	看護師	新規
	結城 三恵	みやぎ県南中核病院	看護師	継続
書記	大平 愛	国保丸森病院	看護師	新規
	八巻千恵子	国保丸森病院	看護師	継続
会計	佐々木 諒	大泉記念病院	看護師	新規
	加藤 利奈	丸森町役場	保健師	継続
職能委員	阿部 咲枝	川崎こころ病院	看護師	継続
	吉田美保子	みやぎ県南中核病院	助産師	新規
	渡邊さゆり	金上病院	准看護師	新規

1年間どうぞよろしくお願ひします。



令和6年度 仙南支部活動計画

【仙南地区支部の現状と課題】

1. 地域包括ケアシステム推進のための更なる連携強化・関係づくりが必要である。
2. 県内で最も看護職が少ない地域であり、ほとんどの施設で人員不足である。
3. 看護職として長く働き続けられるための職場環境改善や採用の情報交換の場が必要である。
4. 看護職連携と支部の強化・充実のために会員を増やす。

【令和6年度の活動方針】

「明るく、楽しく、元気よく、強い絆で繋がろう」をモットーに、非会員を巻き込みながら活動していく。

1. 地域ネットワーク強化、専門性向上 (情報交換、研修、施設見学、管理者ネットワーク会議等)
2. 支部機能を強化する。 (支部だよりや研修案内を非会員にも送付する。)
3. 役員間交流、相互理解を促進する。(施設見学等)
4. 仙南の職場として選ばれるための効果的な情報発信を行う。(看護のひろば、広報等)
5. 若い世代に看護職の魅力を伝え、地域を支える看護職を増やす。(看護のひろば)
6. 地域住民に寄り添い、健康福祉に役立つ活動を行う (まちの保健室)

【今後の予定】

1. 看護の質の向上に関すること
 - ① 教育研修
 - 第2回研修会
 - 日時：11月頃予定
 - テーマ・講師：未定
 - ② 施設見学
 - 仙南地域の医療福祉施設を見学しよう (役員会に合わせ見学。交流予定)
2. 地域活動
 - ① 看護週間行事「看護のひろば」
 - 日時：9月頃予定
 - 場所：未定
 - ② まちの保健室
 - 日時：11月頃予定
 - 内容・場所：未定
 - ③ 仙南地区看護管理者の会
 - 年3回 (5月、9月、令和7年1月)
3. その他
 - ① 支部だより 年2回発行
 - ② 協会ホームページ支部情報更新 2回
 - ③ 「看護みやぎ」に記事掲載 2回



報告

仙南地域看護職確保に向けた実態調査 仙南地域看護管理者連絡会において

eナースセンター登録者の仙南地域での就業に関する実態調査

【対象地域】 2市7町 (白石市、角田市、大河原町、柴田町、川崎町、丸森町、蔵王町、村田町、七ヶ宿町)

【調査期間・方法】 令和5年9月28日～10月13日 (3週間)

Google foamを使用したweb調査

【調査対象者】 宮城県eナースセンター登録者 4,121名

【回答者】 797名 回答率 19.3%

【回答結果】

① 就業状況として

現在「看護職として働いている」が7割を占めている。残り3割 (237名) は「働いていない」と回答している。

② 「看護職として働いていない」看護職が「仙南地域で就業するための必要な条件について」

◎ 待遇面や労働環境に関する条件が必要である。

◎ 自由記載からは、住宅の斡旋や給与等の労働条件次第では検討の余地がある。

と回答している。



白石高校看護科学生の卒業後の移行調査

【調査の目的】 白石高校看護科学生の就職に関する意向について知る

【調査期間・方法】 令和5年10月10日～10月16日 (1週間)

Google foamを使用したweb調査

【調査対象者】 白石高校看護科1年生37名、2年生37名 計74名

【回答者】 63名 回答率 85.1%

① どこから通学しているか

仙南地区 49.2%
仙台市 36.5%
仙南・仙台市以外 14.3%

② 卒業後、すぐに希望する就職先

病院・クリニックなど 100%

③ どの地域で働く事を選択しましたか (考えていますか)

県外 (東北地方以外) 35名
県内 (仙台市) 16名
県内 (仙南地区) 5名

④ どんな条件を整えば宮城県に就職しようと思ひますか? (複数回答可)

上司や同僚からのサポートがある 35名 (70%)
仕事にあった賃金がもらえる 34名 (68%)
年次有給休暇が取りやすい 24名 (48%)
余暇に遊べる場所がある 16名 (32%)



編集後記

4月20日、総会後に開催されました研修会の感想をお伝えしたいと思います。この度、心不全についての講演を聞き、退院した後も医療機関の連携が大切になってくることも学びました。家庭や施設、療養病院にて、継続した血圧、症状の記録を付けることは、急変時に他医療機関でスムーズな治療を行うために必要なことであると改めて思ひました。今後の地域医療の連携を行うための第一歩であり、仙南地域医療の強化に繋がることと思ひます。今後も教育研修会を初め、支部活動の状況を広報を通してお伝えしていきたいと思ひます。 泉 洋子